

2020/8/21

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

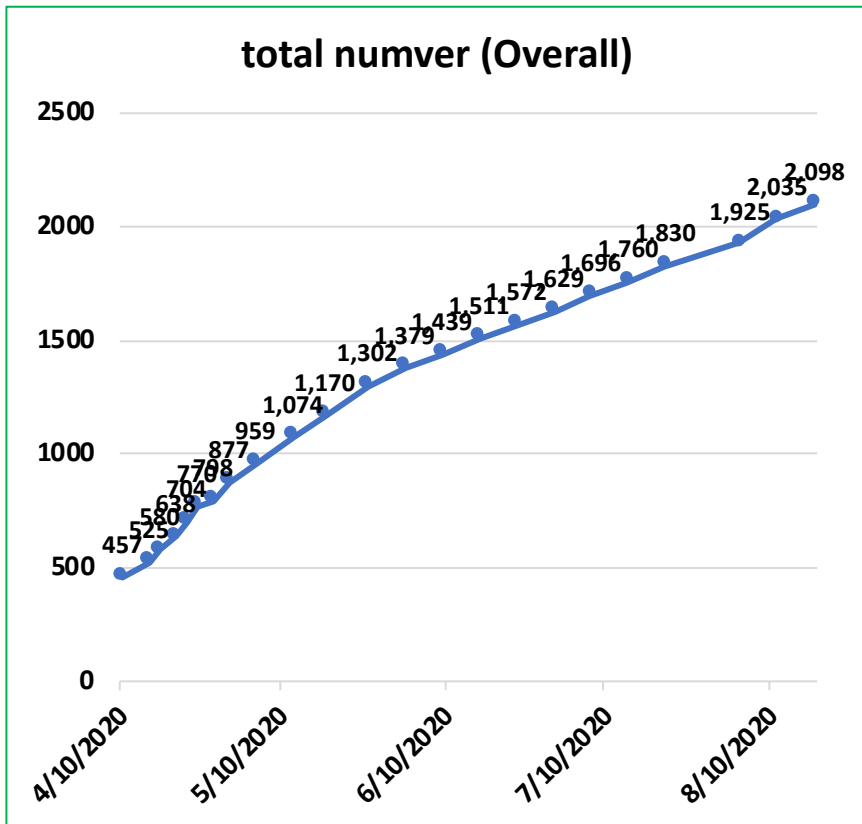
Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

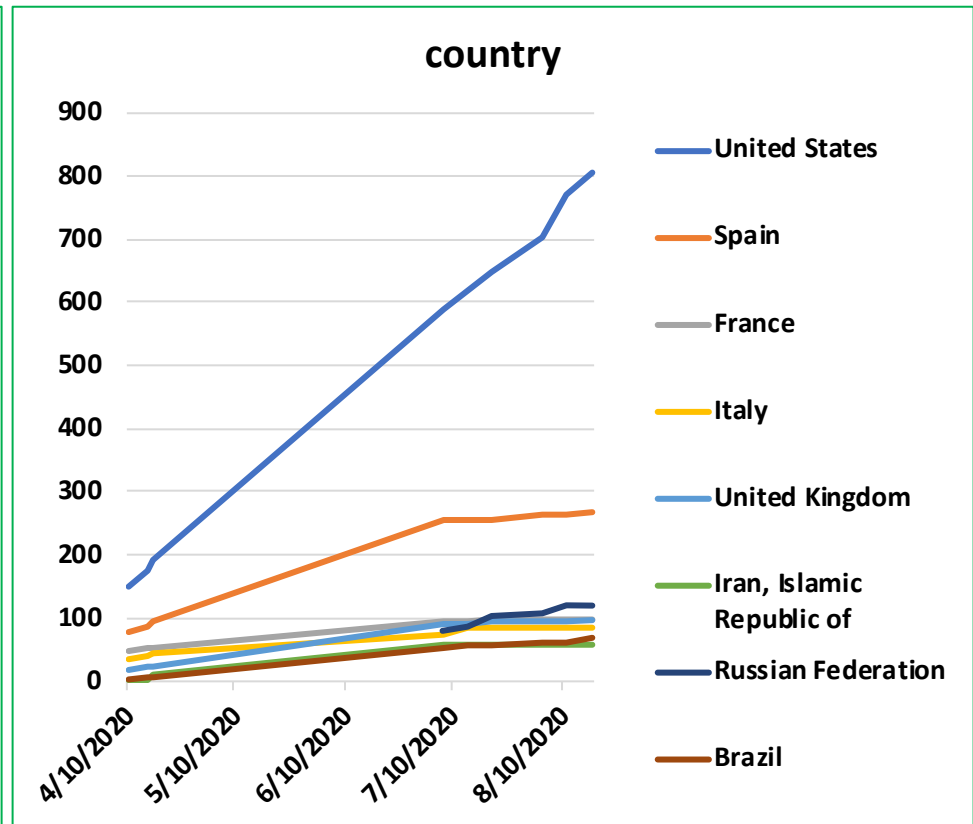
松本主之 松岡克善 松浦 稔 大宮直木
飯島英樹 平井郁仁 石原俊治 仲瀬裕志
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.
SECURE-IBD Database Public Data Update.
covidibd.org. Accessed on Aug /21/2020.

COVID19感染IBD患者数の推移

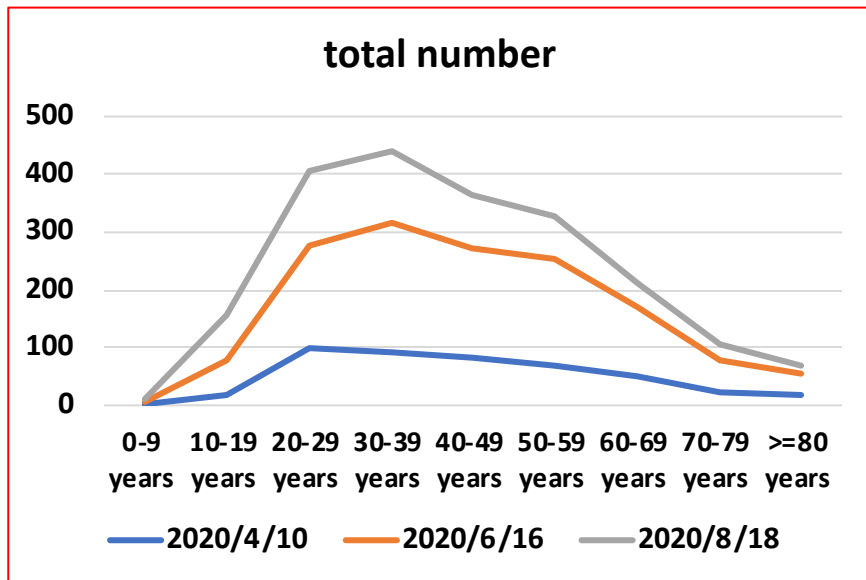


感染者数上位8カ国

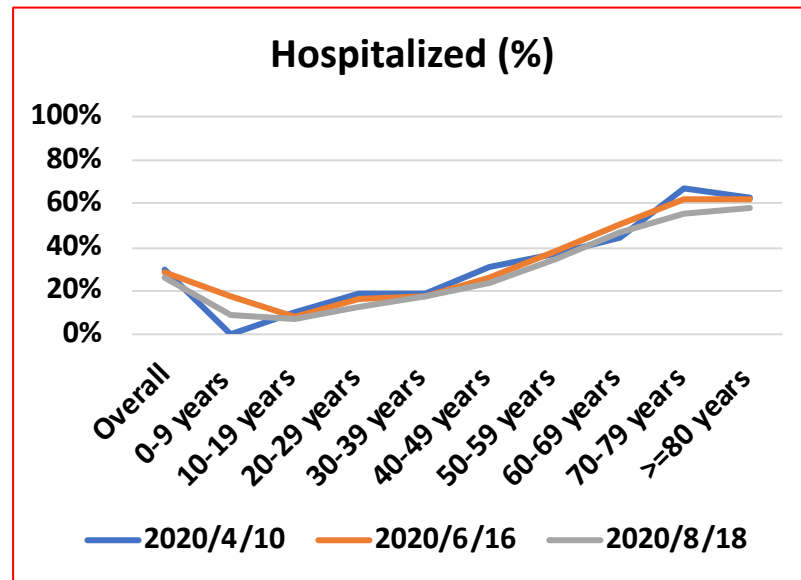


- COVID-19に感染したIBD患者数は、全体では増加がやや緩徐になってきている。
- しかし、**アメリカは増加傾向であり**、ロシアやブラジルが新たに増加傾向である。
- スペイン、フランス、イタリア、イギリス、イランは増加が見られなくなってきた。

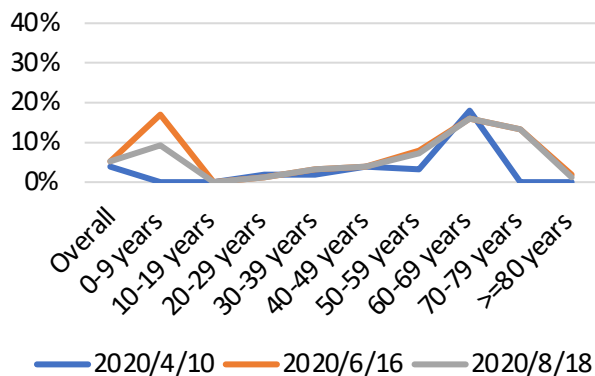
感染患者の年齢分布



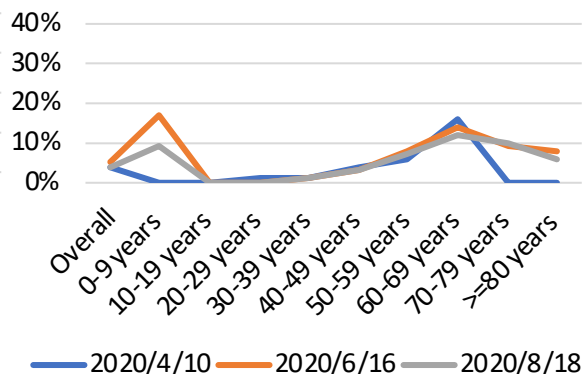
入院患者年齢分布



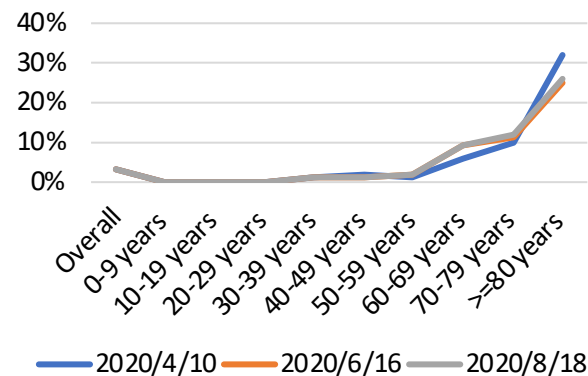
ICU (%)



Ventilator (%)

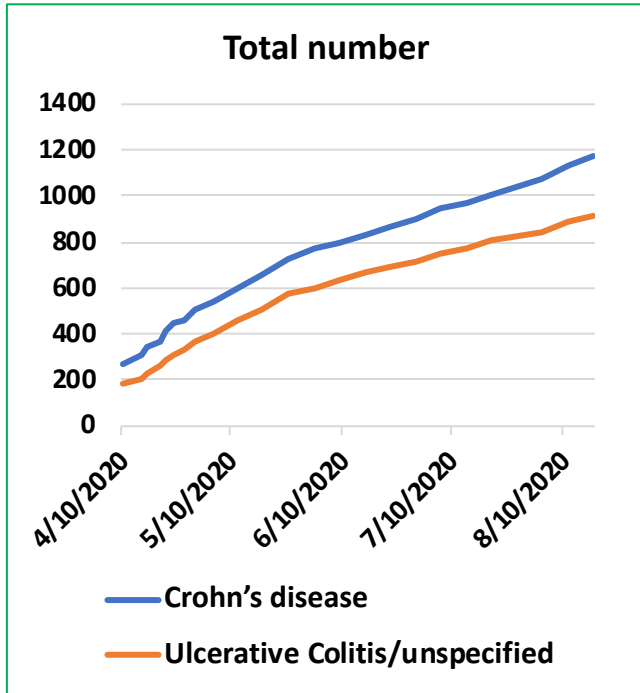


Death (%)

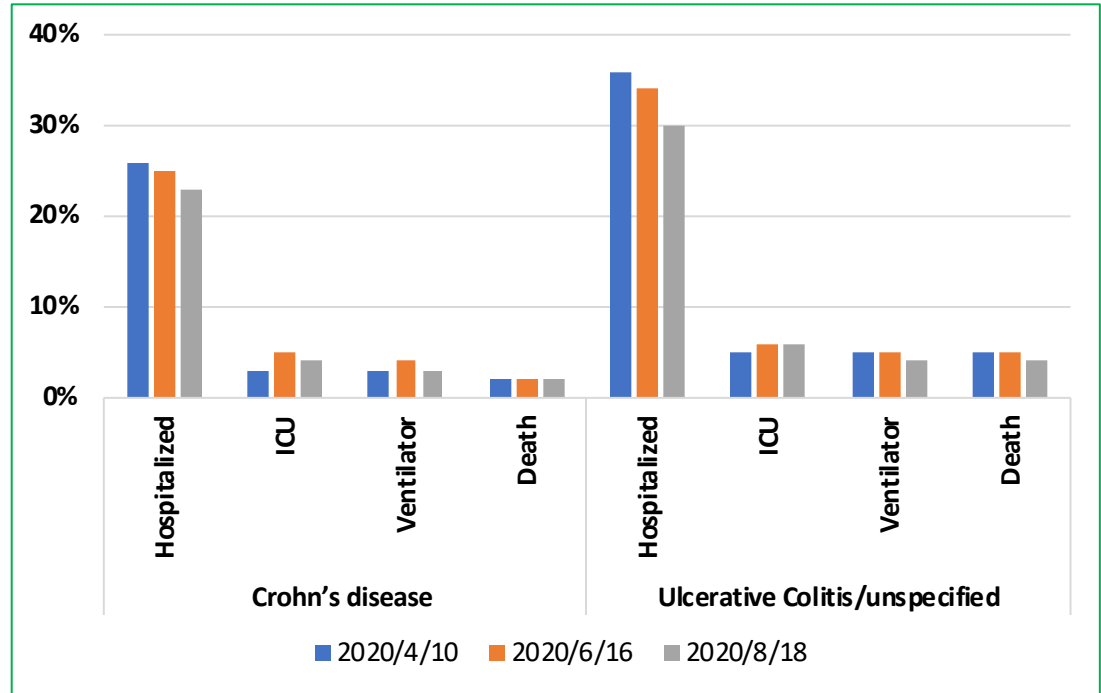


- 0-9歳は母数が少ないため母数が評価が難しい。
- 高齢者の高い死亡率は現在も減少しておらず、60歳以上で高値となる。

疾患別患者数

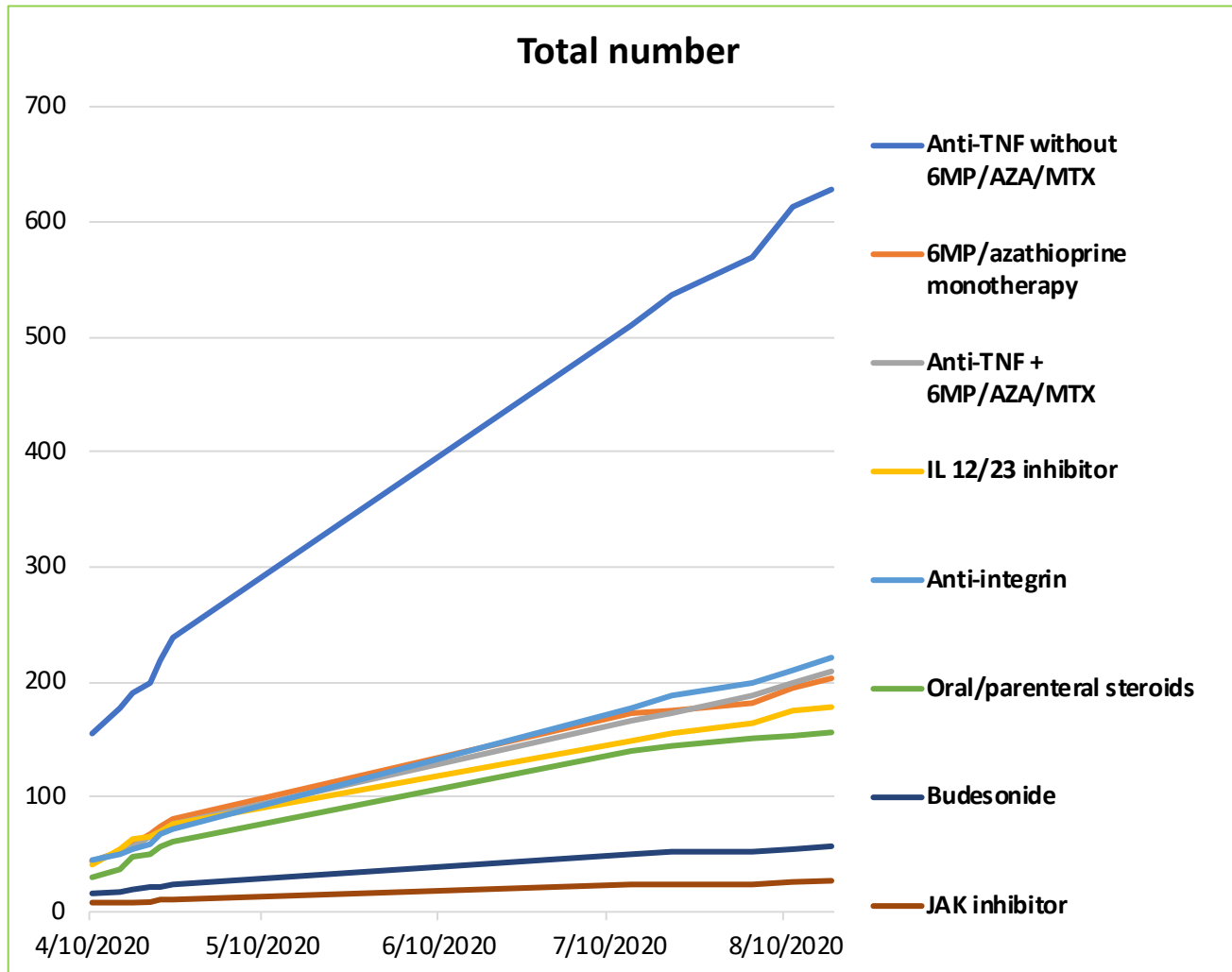


疾患別重症度の割合



- 入院率、ICU管理率、人工呼吸器管理率、死亡率は、クローン病よりも潰瘍性大腸炎の方が高値であり、特に死亡率は差がある状況が続いている。

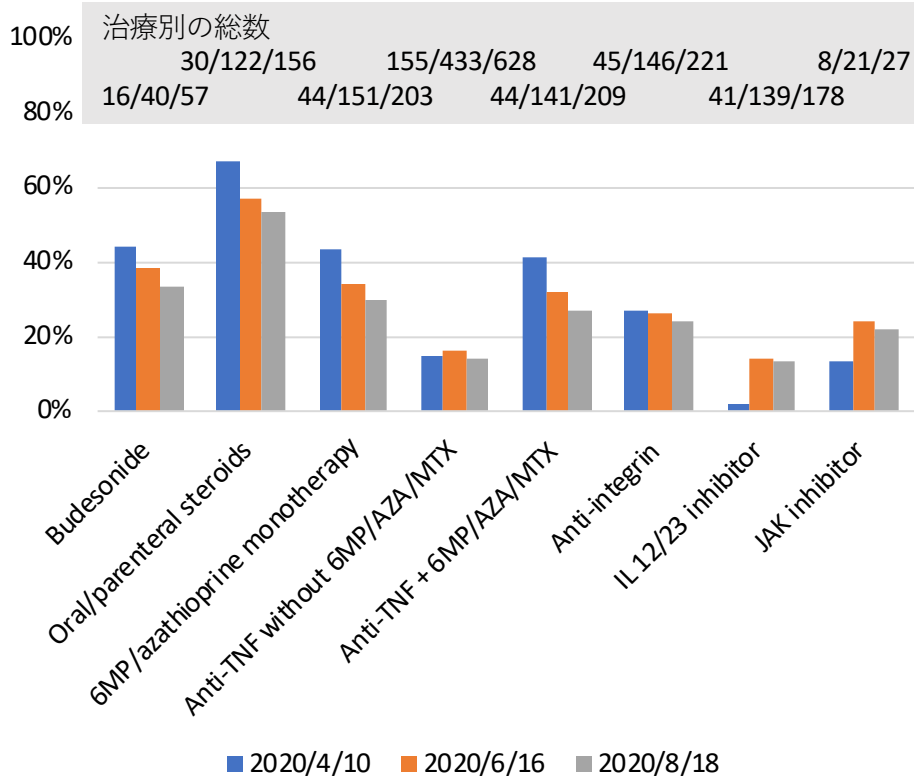
治療別の患者数



- 緩徐ではあるがBudesonideの症例数が蓄積してきている。
- JAK inhibitorの症例数は症例数の蓄積が進んでいない。

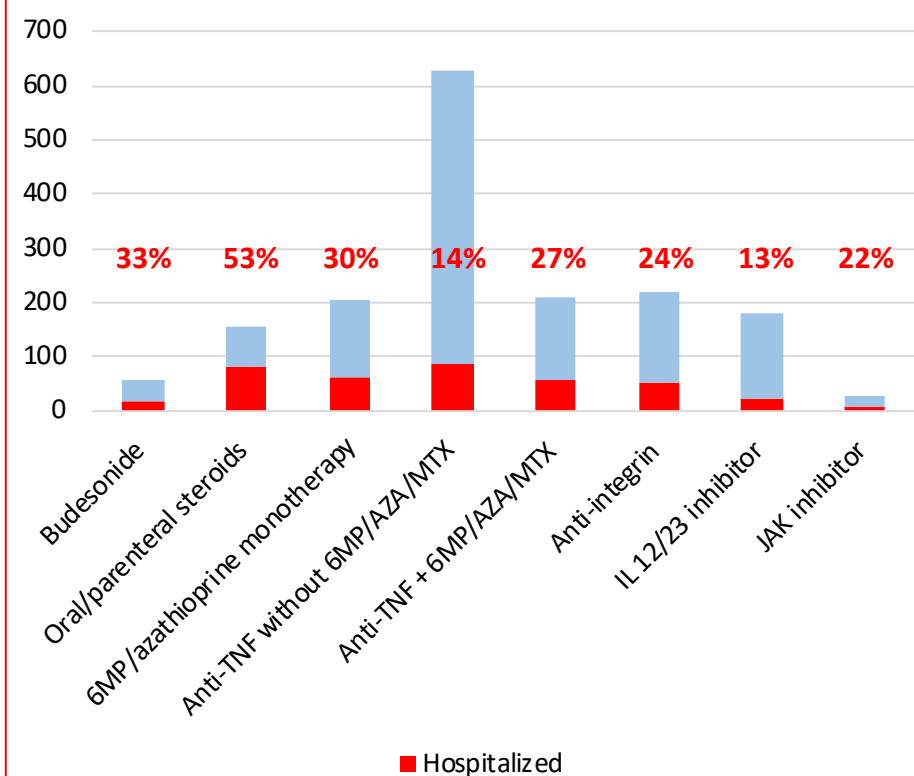
治療別の入院率の推移

Hospitalized (%)



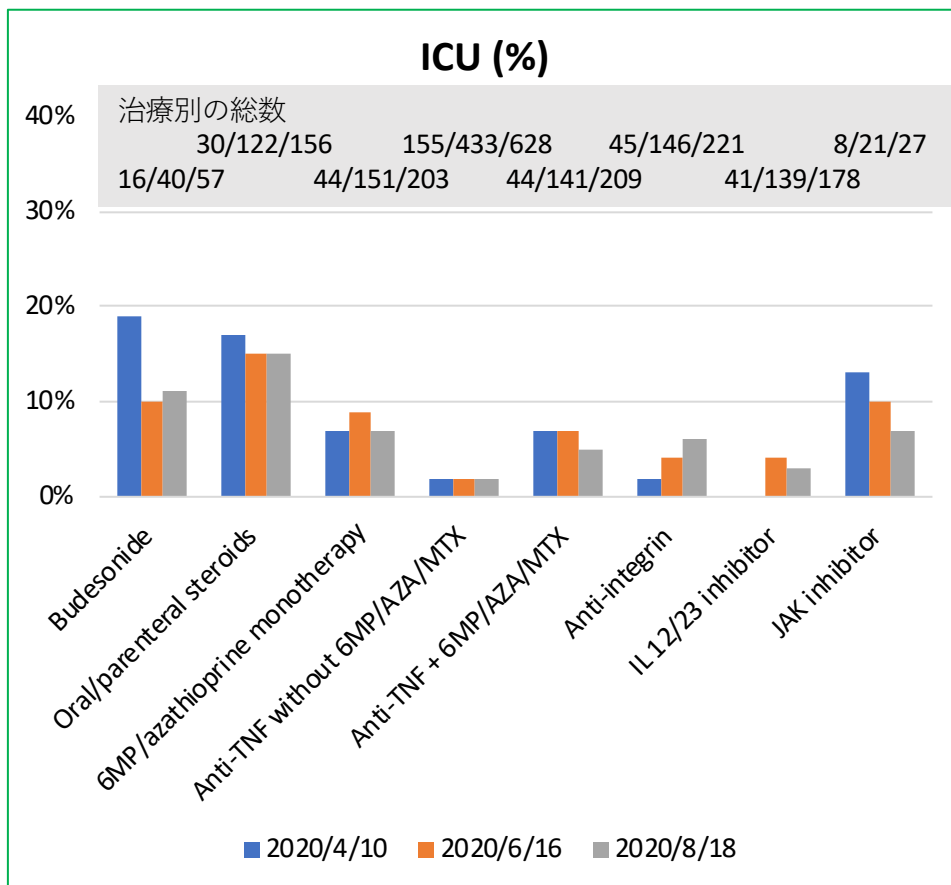
治療別の総数と入院率

2020/08/18

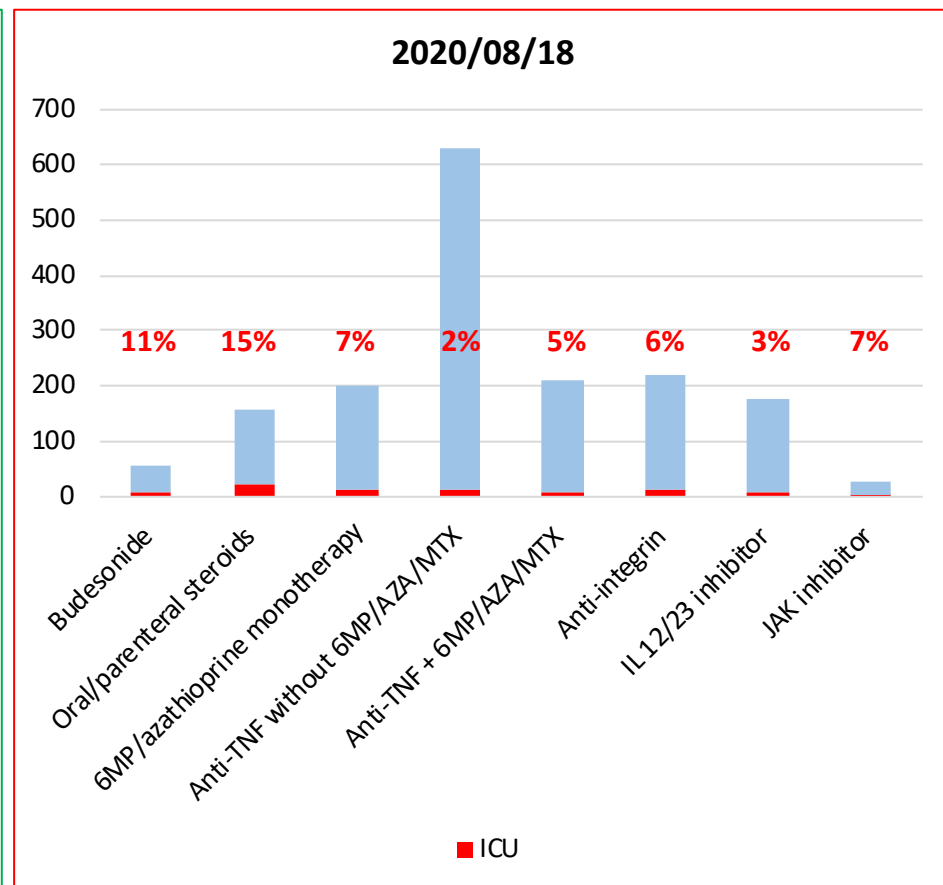


- 入院率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの入院率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較するとやや高値である。

治療別のICU管理率の推移



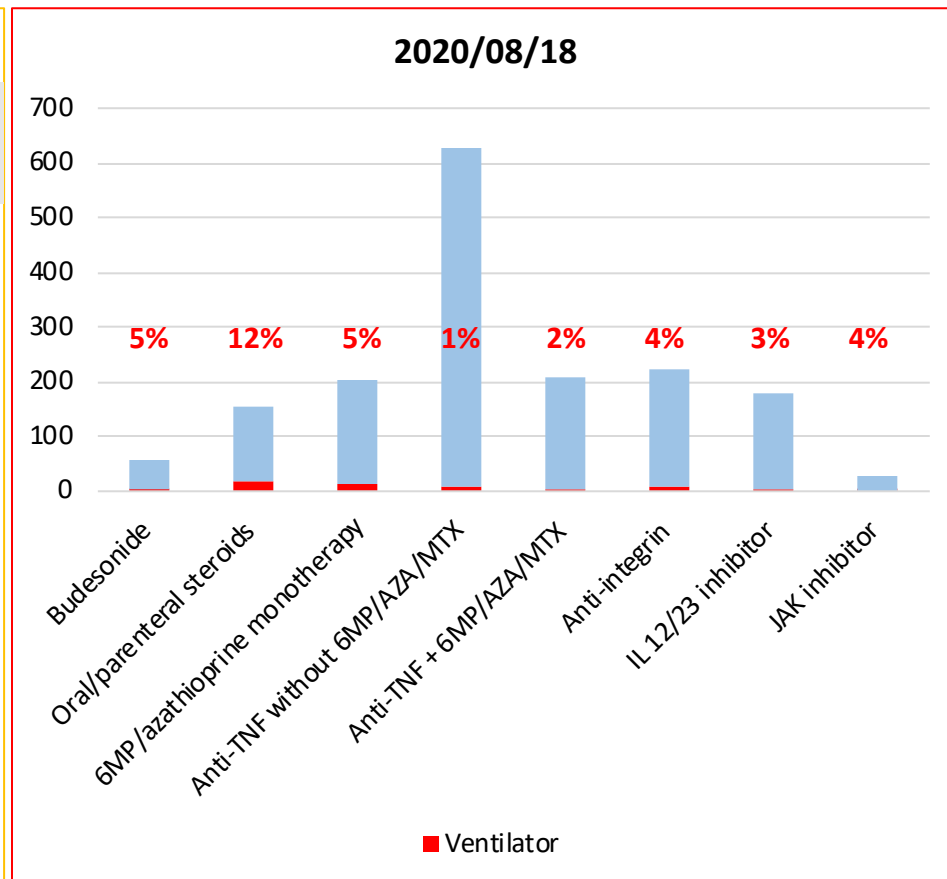
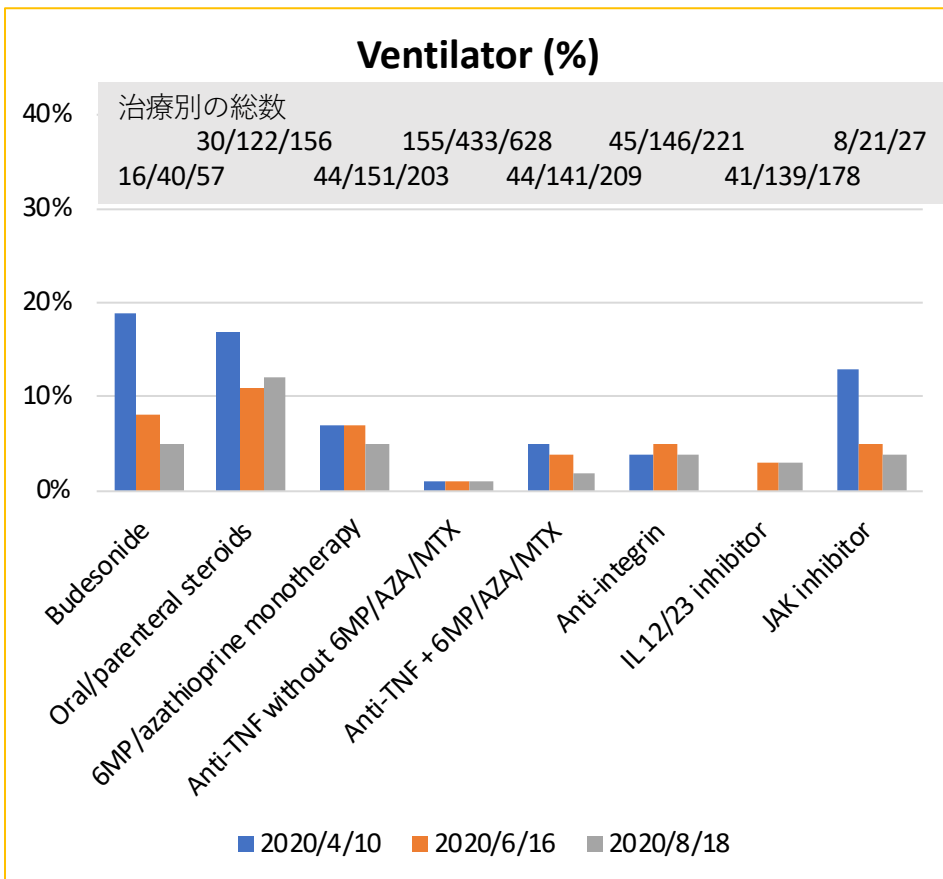
治療別の総数とICU管理率



- ICU管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- BudesonideのICU管理率はOral/parenteral steroidsよりは低値の可能性はあるが、他の治療と比較すると高値である。

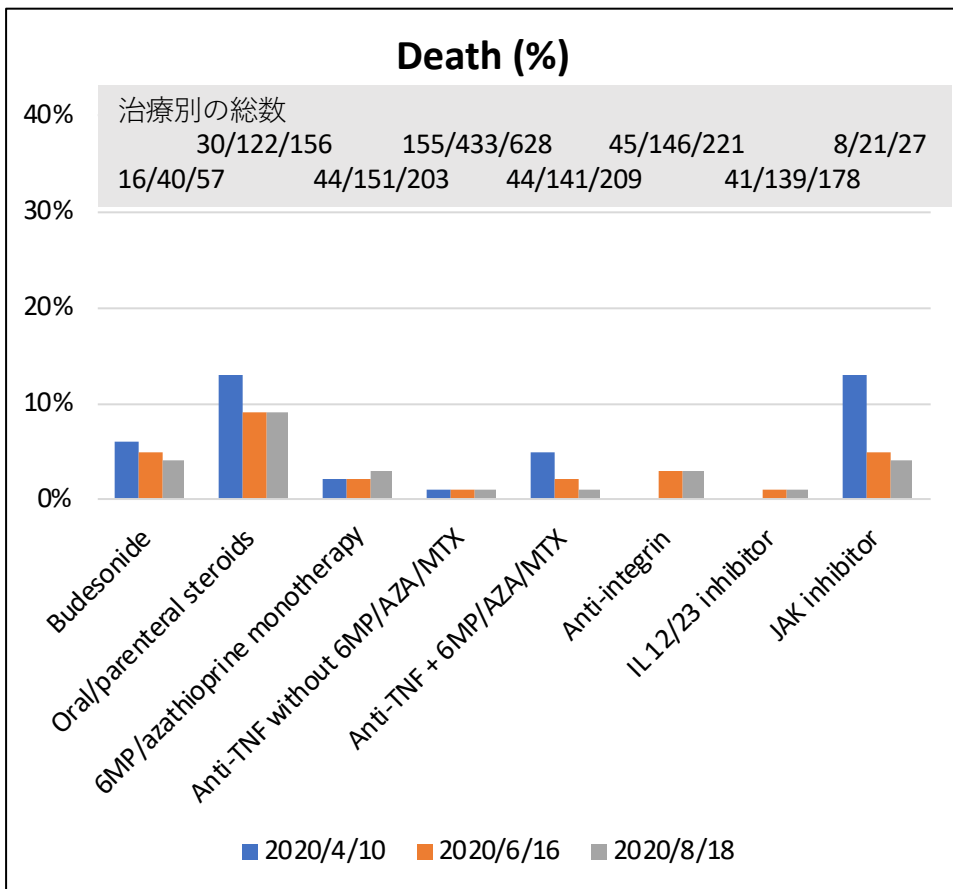
治療別の人工呼吸器管理率の推移

治療別の総数と人工呼吸器管理率

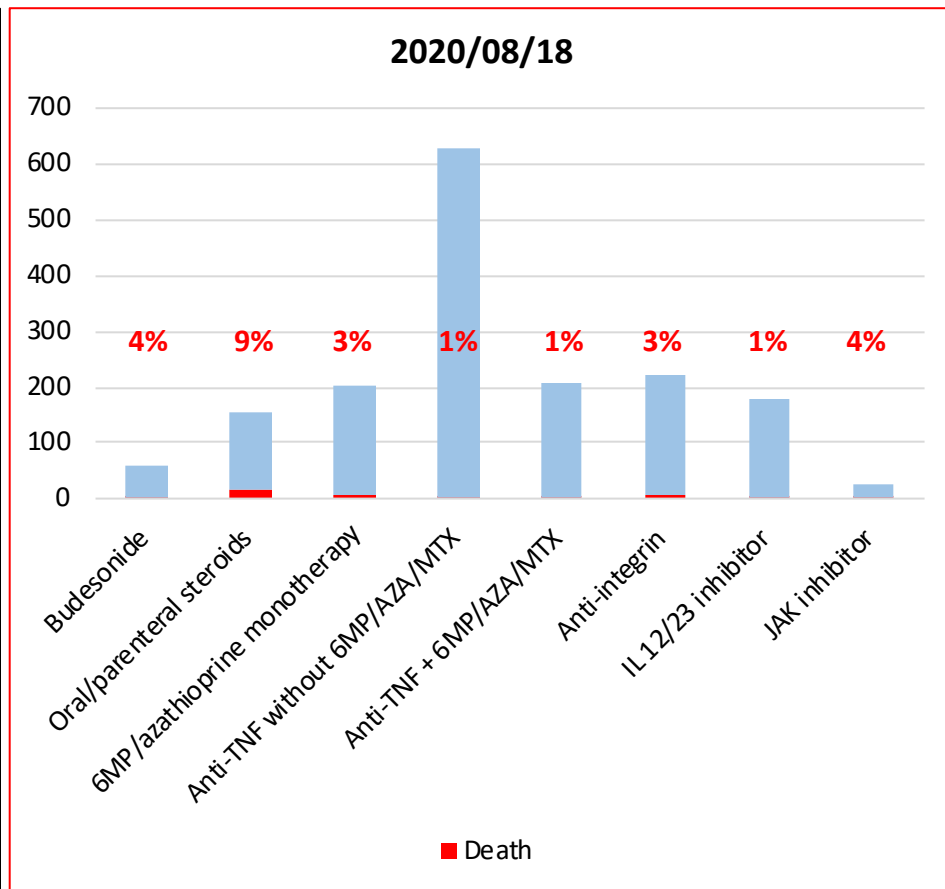


- 人工呼吸器管理率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXで低値が続いている。
- **Anti TNF + 6MP/AZA/MTXの人工呼吸器管理率が低下傾向である。**
- Budesonideの人工呼吸器管理率は他の治療よりはやや高値ではあるが、Oral/parenteral steroidsと比較すると低下傾向である。

治療別の死亡率の推移



治療別の総数と死亡率



- 死亡率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- **Anti TNF without 6MP/AZA/MTXの死亡率が低下傾向である。**
- Budesonideの死亡率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較すると高値である。